

追い付いておらず、本部の後押しをお願いしたい。
また、不妊治療検査休暇は有給としていただきたい。



人ひとりに情報が届く仕組みを考えていく必要がある。
JR東労組脱退者と交流レクリエーションを！
古川 壘 (西バス本地)

相互扶助の精神！

ボランティア、カンパ活動に感謝！

平成30年10月12日(金)13日(土)、ホテルグランヴィア岡山に於いて、JR西労組中央本部青年女性委員会第28回定期委員会が開催された。中央常任委員18名、委員80名が出席した。冒頭、新倉青年女性委員長が挨拶。その後、来賓挨拶に続き、活動経過報告、活動方針案の提起が行われ、1日目は全体質疑が行われ、各地本や職場を代表して19人の委員から、「安全」「青年女性活動」「組織」「女性の働き方」など41項目について、活発な質疑がなされた。その後、活動方針など、満場一致で採決され新体制が発足し、第28回定期委員会が閉幕した。

全体質疑

総支部の組合意識向上のために

原田 雄太 (本社総支部)



新倉委員長は、挨拶の中で、新幹線初となる重大インシデントを取り上げ、「異音、モヤ、ガタつきなど数々の異常を感じながらも列車を停車させることができなかったことを真摯に反省しなければならぬ」と、福知山線列車事故を起こした当事者として、危機感を全員が共有しなければならぬことを力説。

青女は全員が事故後人社となったのを受け、「事故を風化させない取り組みではなく、事故に学ぶ取り組みが必要だと感じている」と続けた。

また、大阪北部地震・西日本豪雨・大型台風と立て続けに起こった自然災害に、大きな被害を受け、苦しい中でも、「お客様誘導」「復旧作業」「バス代行」など力を結集させたJR西労組を誇らしいと形容し、改めてJR西労組の底力に手応えを感じていた。

八人山踏切事故の当該運転士へのJR西労の中傷に對しても、各地本の運転職場から当該運転士への激励色紙行動で、思いを馳せる力を具現化した。組合活動は自分の時間で行うので、しんどいと感じることもあるかもしれないが、労働組合の大切さと、青女の役割をみんなが共有し、共に頑張ろう。と語った。

●総支部は組合活動への参加が少なく、JR西労組運動の目的を理解していない組合員が多い。本部役員が足を運んで、水平展開できているか確認をお願いする。

●企業型保育所を各地域へ設置するよう働きかけを。

企業型保育所を各地域に

板井 航大 (福岡本地)



●重大インシデント以降、台車枠に関する検修方法が確立され品質向上と信頼回復に努めているが、作業の増加に伴い、要員不足の課題も出ている。



改めて「JR西労組で良い」ではなく、「JR西労組が良い」と感じている
長滝将太郎 (岡山本地)

●西日本豪雨被害で、みなさんから身を案ずる言葉や激励など心温まる言葉をいただいたことに感謝している。真備地区でのボランティア活動にも、精力的に支援頂いたことについても合わせて感謝申し上げる。仲間を想う気持ちで溢れているみなさんと仲間であることが、改めて「JR西労組で良い」ではなく、「JR西労組が良い」と感じている。



●網干総合車両所と吹田総合車両所間の交流がなく、連携が難しいと感じている。レク

●交通政策をすすめる会の加入率が3割程度である。私たちの声を代弁してくれる議員のバックアップが十分でない。定期委員会に政治家を招き、想いを直接聞く機会を設けるようにしていただきたい。



網干・吹田両車両所間の交流を！

高橋 雄基 (神戸本地)

●今年1月に青年女性組合員が脱退する事象が発生。職場集会、支部・分会三役合同会議で組織学習会を開催するなど、対応を図った。

JR貨物の採用が内定していた契約社員に目を付けた西労が、貨物はJR総連が多いからJR西労に加入した方がよい」と働きかけ、脱退に至った。



●日根野支所は本区と和歌山の新在家派出所にある。同じ職場でありながらエリア手当が異なる。新在家派出所のエリア手当を10%としていただきたい。

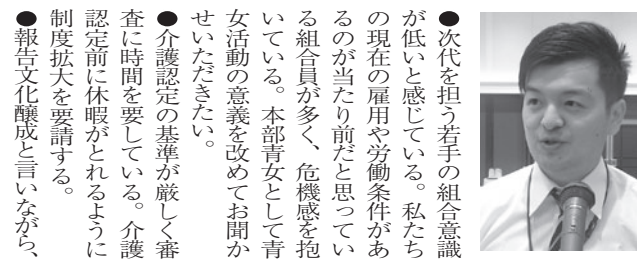
伝えられるように学んだ。本部のサポートをお願いする。

●駅の契約社員の廃止はJR西労組が求めてきたものであるが、まずは現在の契約社員が全員正社員になれるよう求めたい。

本部青年の見解を伺いたい。

●工務系職場では、各種検査データなど電子データで管理しているが、システムに入力できないものや、点検の時は紙媒体で確認しており、資料作成に時間を要している。システムの統合等、超勤を減らす働きかけをお願いする。

●女性活躍推進法の施行の一方で、設備の増設や改良が

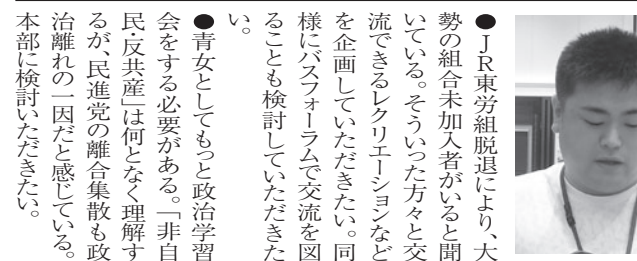


「責任追及の風潮があると感じる。ヒューマンエラー非懲戒ではあるが、細かすぎる事実確認があるなど、教育方法を見直していただきたい。」

元気をいただいたボランティアのみなさんに感謝！
本 宏次郎 (広島本地)
●広島地本エリアでは、9市

4町が被害を受けたが、JR連合のボランティアのみなさんから多くの元気をいただき感謝している。

ボランティアに参加することで、「被災地を身近に感じた」「非常に良い経験になった」「他の地域で何かあれば参加して支援したい」と前向きな発言があったので紹介させていた



●JR東労組脱退により、大勢の組合未加入者がいると聞いている。そういった方々と交流できるレクリエーションなどを企画していただきたい。同様にバスフォーラムで交流を図ることも検討していただきたい。